

産地「勝沼」と共生し、日本ワインの新たな楽しみ方を提案
「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリーフェスティバル 2020」11月7日（土）・8日（日）開催
～今年は初のオンライン配信にて開催～

メルシャン株式会社（社長 長林道生）は、「シャトー・メルシャン 勝沼フェスティバル 2020」を11月7日（土）・8日（日）の2日間、「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー」（山梨県甲州市）からのオンライン配信を中心に開催します。

「シャトー・メルシャン」では、日本ワインが日本においてもっと愛され親しまれること、日本ならではの伝統や洗練された食や文化と共に楽しんでいただくこと、お客様と共に日本ワインの魅力を発見し、魅力を広めていくことを目的に1974年より、ブドウの収穫期に合わせて「ハーベスト・フェスティバル」などのイベントを開催してきました。

43回目となる本年度の開催に当たり、日本ワイン業界全体が厳しい状況にある中、“ニューノーマル時代”と言われる2020年だからこそその日本ワインの楽しみ方について企画自体を再設計し、“自宅で楽しめるフェスティバル”という新たな形態で「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリーフェスティバル 2020」を開催することとしました。

「シャトー・メルシャン」は、地域の皆様とともに、私たちにできる活動を通じて、地域社会の発展に取り組むとともに、日本を代表するワイナリーとして国内外へ日本ワインの情報を発信し、日本ワイン産業の発展に貢献していきます。

●「シャトー・メルシャン 勝沼フェスティバル 2020」の概要について

- ・開催催名： 「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリーフェスティバル 2020」
- ・開催日： 11月7日（土）、8日（日）11：00～16：00（予定）
- ・開催場所： 「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー」（山梨県甲州市勝沼町下岩崎 1425-1）
- ・開催形式： オンライン配信
※「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー」から YouTube、Zoom などによるオンライン配信を予定。
 ※一部のプログラムは、「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー」での開催も予定。

●「シャトー・メルシャン 勝沼フェスティバル 2020」3つの“ニューノーマル”コンセプト

- 1) ワイン産地「勝沼」と共生し、志を同じくするワイナリーとともに、「勝沼」の魅力を発信。
- 2) 移動や密集を前提とせず、お客様とワイナリーが繋がり、双方向で楽しめる新しい関係を構築。
- 3) ワインが持つ文化的背景を紐解き、教育・文化・アートといった複合的なコンテンツに挑戦。

●「シャトー・メルシャン 勝沼フェスティバル 2020」の主な実施内容

- ①「シャトー・メルシャン」のビジョンに共感いただいた、日本を代表するセレクトショップを運営する株式会社ユナイテッドアローズ（東京都渋谷区）と特別コラボレーションTシャツを制作。
- ②「シャトー・メルシャン」だけではなく、志を同じくした勝沼のワイナリー「勝沼醸造」「丸藤葡萄酒工業」なども参画。
- ③日本ワイン研究開発およびワイン人材育成の権威である「山梨大学 ワイン科学研究センター」と共同開催による特別セミナーを開催。
- ④オンラインで楽しめる多彩なプログラムを展開。
 例：おうちで楽しめる「勝フェスキット」の販売、トークイベント、
 「シャトー・メルシャン ワイン資料館」からの管弦楽アンサンブルの生配信、お子様も楽しめるアートコンテストなど。
※実施内容の詳細は9月中旬に発表予定です。



メルシャン株式会社は、ワイン事業スローガン「ワインのおいしい未来をつくる。」のもと、ワインのある豊かな時間を通じて、人と人とのつながりを楽しんでいただけるよう、さまざまな提案を続けていきます。